

令和7年度

河川維持修繕事業

水ヶ峠排水路河川修繕工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市安芸津町三津

水ヶ峠排水路 位置図



特記仕様書

(水ヶ峠排水路河川修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 履行報告
5. 官公庁等への手続き等
6. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
8. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休2日適用工事等
11. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 建設副産物
 - (1) 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））
 - (2) コンクリート殻（無筋）（搬出）
 - (3) アスファルト殻（搬出）
3. 工事支障物件
 - (1) 地下・地上障害物

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 着工前測量
4. 交通規制について
5. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県）」及び東広島市制定の第15編下水道編（最新版）に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものに

あつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 履行報告

履行報告の提出にあつては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

5. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

6. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあつては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあつては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

 - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
 - 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土交通省)」は適用しない。

- 3) 「4. 検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率=工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値(%)=真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領(農林工事)(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区分	材料名	摘要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和6年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和6年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から12日間（2人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する可能性がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)	大地リサイクルセンター
(所在地)	東広島市西条町大沢字檜ノ村松坂山10175-89
(運搬距離)	7.1km

(2) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 7.7km を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 10.3km を見込んでいる。

3. 工事支障物件

(1) 地下・地上障害物

支障物件名	水道管φ75ほか
管理者	広島県水道広域連合企業団東広島事業所
位置	東広島市安芸津町三津1176-1地先
移設時期	令和7年9月予定
工事方法	開削工法

備考：試掘調査を行い、埋設物の位置の確認を行うこと。

水道配水管及び給水管等の移設については、東広島市指定水道装置工事事業者で行うこと。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 着工前測量

受注者は着工前に測量を行い図面と数量を監督員に提出すること。施工は承認を受けてから着手すること。

4. 交通規制について

交通規制については、一部期間の通行止めを計画しているが、地元と協議中であり、協議の結果によっては、工種の追加等の変更を行うものとする。

5. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

特記仕様書【抜粋】

第1章 総則

1. 配管従事者の条件等

水道配水用ポリエチレン管の配管従事者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会（以下「POLITEC」という。）による「水道配水用ポリエチレン配管施工講習会受講証」を有する者とし、POLITECによる「水道配水用ポリエチレン配管施工講習会受講証」の写しを提出すること。

2. 分岐穿孔従事者の条件等

分岐穿孔工事は、給水装置工事主任技術者の管理のもと、適正な穿孔器具及び材料を使用し、次に掲げる者に施工させなくてはならない。

- (1) 公益財団法人 給水工事技術振興財団による給水装置工事配管技能講習会修了者。
- (2) 公益財団法人 給水工事技術振興財団による給水装置工事配管技能検定合格者。

第2章 工事材料

1. 使用材料

- (1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし、監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	鉄筋	製造1年未満	
	プレキャスト製品	同上	
	既製杭	同上	
	塗料その他	同上	
配管材料	ダクタイル鋳鉄管	同上	
	ポリエチレン管	同上	
	塩化ビニル管	同上	
	鋼管	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン
	管付属品	同上	ホリスリーブ・ローリングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難しい場合に、(公社)日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

- (2) ダクタイル鋳鉄管の直管、異形管及び鋳鉄継手は、内面エポキシ樹脂粉体塗装品とすること。なお鋳鉄継手は、離脱防止金具付きとすること。
- (3) $\phi 400$ 以下の仕切弁は、ソフトシール仕切弁とし、 $\phi 450$ 以上の仕切弁については、軽トルク・内面粉体塗装のバタフライ弁とする。
- (4) 空気弁は、急速空気弁($\phi 20$ または $\phi 25$)・FCD・内外面粉体塗装とし、空気弁のカバーの高さは道路天より11~20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。なお、空気弁は水平(許容傾斜角度 2° 以内)に据え付けること。やむを得ない現場条件により許容傾斜角度を超える場合は、製造会社の保証する傾斜角度以内で据え付けることができるものとする。なお、保証傾斜角度が確認できる傾斜作動試験等の成績証明書を提出すること。
- (5) 補修弁は、FCD・内外面粉体塗装・RF-GF形・ボール式・右開・面間寸法を100mm又は150mmとする。
- (6) 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所維持課に

問い合わせること。

調整リングの材質については、レジンコンクリート製（日水協検査品）を標準としているが、樹脂製又は鋳鉄製によるものの使用についても承諾する。

- (7) ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

第3章 施工条件

1. その他

(1) 水圧試験

本工事箇所は既設管路を断水し移設管と接続するものであるが、即日復旧すべき管路であることから、通水試験（水圧試験）は以下のように行い合格することとする。

【水道配水用ポリエチレン管】

既設管接続箇所近くの新設管路の切管部にメカニカルキャップを設置する。

メカニカルキャップの水抜き孔にバルブソケットを設置し、塩ビ管により配管を行い、水圧計をセットし以下のように水圧試験を行うこととする。

- ・ 管路の水圧を 0.75MPa に上昇させ、10 分間保持する。
- ・ 10 分経過後、水圧が下がっている場合は再加圧する。
- ・ 再加圧後、すぐに水圧を 0.50 MPa まで減圧し、10 分間保持する
- ・ 10 分後の水圧が 0.50 MPa から下降しないことを確認する。

(2) 工事の施工について【配水管】

- ① 工事着手前に近隣住民に工事の通知を行うこと。また、施工にあたっては道路使用の許可条件を遵守し、工事看板等の安全施設を設置すること。
- ② 配水管と他の構造物との離隔は、布設の管種・口径に関わらず、管外面から地下埋設物外面間の離隔を交差、並列ともに 30cm 以上確保することし、離隔を 30cm 以上確保できない場合には、監督職員と協議すること。
- ③ 施工時に現場と設計に相違があることが判明した場合は、監督職員に報告し、指示を仰ぐこと。また、設計変更が生じる場合は、監督職員と協議すること。
- ④ 床付面に岩石、コンクリート塊等の支障物が出た場合は床付面より 10 cm 以上取り除き、砂等に置き換えること。
- ⑤ 仮復旧は管布設後、当日中に施工すること。
- ⑥ 工事の施工範囲内に境界標等が設置されていないか事前調査を行い、その結果を現地調査報告書に合わせて監督職員へ報告すること。また、工事の施工により境界標等へ影響が生じる場合は、その復元方法等を監督職員と協議すること。
- ⑦ 現場発生品は清掃及び切管部及び損傷部の補修をした後、監督職員の指示する場所に納品すること。
- ⑧ 埋設シートは、極力切断せずに埋設すること。やむを得ず切断した場合は 1 m 以上重ね合わせること。
- ⑨ ポリエチレンスリーブは土中でのダクティル鋳鉄管の腐食に対するものであるため、接続部については継手部の凸凹等になじむようにたるませて確実に重ね合わせること。

(3) 工事の施工について【給水管（水道用ポリエチレン二層管）】

- ① 給水管分岐替工は広島県水道広域連合企業団指定給水装置工事事業者の指定を受けている者で施工すること
- ② 受注者は、広島県水道広域連合企業団東広島事務所が貸与する給水装置工事竣工図等により、現地で既設止水栓の位置を確認、分岐替位置について検討し工事を行うこと。
- ③ 受注者は給水管分岐替工事施工前に、水道使用者へ対し、施工予定日、断水時間等を説明すること。また、施工後においても水道使用者へ工事完了の通知を行うこと。
- ④ 受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い

記録しておくこと。

- ⑤ 受注者は、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼさないよう細心の注意をして施工すること。
- ⑥ 受注者は、現場状況により、家屋、塀、立木、工作物等に影響を及ぼす可能性がある場合や既設構造物にクラックや破損等の異変がある場合は、着手前の状況を記録し、写真撮影等を行い記録しておくこと。
- ⑦ 給水管分岐替工の写真管理（給水管布設完了、本管分岐位置、水圧試験、切片確認、コア挿入前後（DIPの場合）、防食フィルム取付完了）については全箇所行うこと。また、給水管布設状況、穿孔状況、土工事一連写真については10箇所1箇所の割合で撮影すること。
- ⑧ 給水管洗管状況は5箇所に1箇所の割合で写真撮影を行い、その他は広島県水道広域連合企業団東広島事務所が定める「給水管分岐替工チェックリスト」により確認を行うこと。
- ⑨ 給水管分岐替工の水圧試験は、給水装置の分岐位置から新設する給水管を含めて行うこと。
- ⑩ 給水管洗管状況は5箇所に1箇所の割合で写真撮影を行い、その他は広島県水道広域連合企業団東広島事務所が定める「給水管分岐替工チェックリスト」により確認を行うこと。
- ⑪ 給水管分岐替において、分岐替え作業後、量水器を取外して十分洗管し、濁り・切粉・ゴミが無いことを確認すること。また出水不足等の苦情があった場合は、受注者の責により速やかに対応すること。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

2. 品質管理

(1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業が完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

第5章 その他

1. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和5年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

2. 提出書類

(1) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。

工事日報の提出にあたっては、施工部分の継手チェックシートを添付すること。

なお、工事日報及び継手チェックシートには任意の継手Noを設け相互にリンクさせること。

(2) 納品書(写し)又は出荷証明書(原本)は集計表を添付して提出すること。

(3) 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基

づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、品質管理図表を提出すること。また、横断図には占用位置として、官民境界又は構造物からの離隔を記入すること。

- (4) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、横断図は測点ごとに作成し、延長が 50m 未満の場合は、監督職員が指示する箇所において作成すること。
- (5) 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

立会項目一覧表

	種別	細別	立会・段階確認項目/確認時期	頻度	備考
立会		材料検査	資材搬入後	施工前	市発注担当課からの依頼があった場合に対応するものとする
	管布設工	既設仕切弁の確認	工事着手前	全箇所(施工前)	開閉状況の確認
		分岐穿孔工(配水管)	不断水穿孔工 不断水仕切弁設置工	全箇所	水圧試験(設計水圧:10分間) 水圧試験(取付角度)確認 コア確認
		耐震補強金具取付工	取付状況	1箇所	立会箇所については市発注担当課工事担当者及び移設工事施工業者と協議し、決定すること
段階確認	土工	床掘工	床掘工 完了時 土質が変化した時	延長500mにつき1回以上(初回は施工初期) 初回以降は監督職員の任意	
		真砂詰・埋戻し工(路床)	施工状況	延長500mにつき1回以上(初回は施工初期) 初回以降は監督職員の任意	転圧状況及び仕上がり厚さ確認
		上層・下層路盤工	路盤工 施工状況・完了時	延長500mにつき1回以上(初回は施工初期) 初回以降は監督職員の任意	幅・厚さ確認

※ 立会項目一覧表にあげられている項目で、『既設仕切弁の確認』・『分岐穿孔工』・『通水試験工』については広島県水道広域連合企業団東広島事務所職員が立会します。

※ 土工の段階確認は市発注担当課工事担当者により対応するものとする

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路改良工事		式	1	レベル1
排水路修繕		式	1	レベル2
残土処理工		式	1	レベル3
土砂等運搬	土砂	m3	20	レベル4
残土等処分		m3	20	レベル4
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り	土砂	式	1	レベル4
埋戻し	土砂	式	1	レベル4
埋戻し	コンクリート	式	1	レベル4
コンクリート擁壁復旧		m	1	レベル4
排水工		式	1	レベル3
路側側溝	縦断用 300×500	m	17	レベル4
蓋板	自由勾配側溝蓋（C0蓋）	枚	13	レベル4
蓋板	自由勾配側溝蓋（グレーチング蓋）	枚	3	レベル4
鉄筋コンクリート台付管	管径400	m	8	レベル4
底張コンクリート		m3	3	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
集水桝	600×600 H700～850	箇所	1	レベル4
暗渠排水管	VU 400	m	1	レベル4
舗装工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
下層路盤(歩道部)	RC-40 全仕上り厚150mm	m2	21	レベル4
上層路盤(歩道部)	RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	m2	21	レベル4
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(20) 1層当り平均仕上厚50mm	m2	21	レベル4
コンクリート舗装工		式	1	レベル3
路盤工	RC-30 全仕上り厚100mm	m2	1	レベル4
コンクリート舗装	18-8-40BB	m2	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版	m	34	レベル4
舗装版切断	コンクリート舗装版	m	3	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2	33	レベル4
コンクリート構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	1	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3	2	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻処分	アスファルト殻	t	4	レベル4
殻運搬	無筋コンクリート	m3	1	レベル4
殻処分	無筋コンクリート	t	2	レベル4
管路(水道)		式	1	レベル1
配水管移設工事(PEP 75)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	32	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下	m2	10	レベル4
管路掘削	バックホウ排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホウ排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホウ排出対策型 購入土	式	1	レベル4
下層路盤工	仕上厚 15cm, 施工幅 1.8m未満 再生切込碎石	m2	10	レベル4
上層路盤工	仕上厚 12cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m2	10	レベル4
仮復旧工	再生密粒As t=3cm, プライムコートなし	式	1	レベル4
殻運搬処理(As殻)	バックホウ排出対策型 As	式	1	レベル4
残土処分工	バックホウ排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
伏越工		式	1	レベル4
矢板工		式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
75配水管移設工 (PEP)		式	1	レベル3
水道配水用ポリエチレン管(直管)	PEP 75×5000(mm)	本	3	レベル4
EF片受バンド	EF45°バンド 片受タイプ 75	個	4	レベル4
EF両受バンド	EF45°バンド 両受タイプ 75	個	3	レベル4
EFバンド	11°1/4°バンド スリット継手・受口なし 75	個	1	レベル4
鋳鉄製バンド	75×45° PEP インナーコア有り	個	1	レベル4
メカニカルソケット	75 PEP×PEP インナーコア有り	個	1	レベル4
メカニカルソケット	75 PEP×塩ビ インナーコア有り	個	2	レベル4
塩ビ管用離脱防止金具	75	個	1	レベル4
ポリエチレン管据付工	75	m	15.4	レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工	75	口	10	レベル4
ポリエチレン管切断工	75	口	5	レベル4
塩ビ管切断工		口	5	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工	75 ポリエチレン側	口	6	レベル4
鋳鉄継手工	75 メカニカルソケット(VP側), メカニカルキャップ(VP部)	口	2	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工【メカニカルキャップ】	75 ポリエチレン側	口	2	レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)取外工【メカニカルキャップ】	75 メカニカルキャップ	口	2	レベル4
空気弁設置工	75-VP-0.55 東広島市型	箇所	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
不断水仕切弁設置工	VP 75用	箇所	1	レベル4
RR継手工	75 離脱防止金具設置	口	1	レベル4
ホリシリンブ被覆工	75	m	5	レベル4
管埋設シート工	巾15cm 2倍折込式	m	14	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色：青色，文字色：白色，施工年度明示	巻	0.8	レベル4
ケーシングワイヤ設置工	被覆外径 4.4mm（材工共）	m	15.4	レベル4
管路土工（給水）		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	27	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下	m ²	8	レベル4
管路掘削	バックホ排出対策型	式	1	レベル4
真砂詰工	B<1.0 バックホ排出対策型	式	1	レベル4
下層路盤工	仕上厚 15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込砕石	m ²	8	レベル4
上層路盤工	仕上厚 12cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	m ²	8	レベル4
仮復旧工	再生密粒As t=3cm,プライムコートなし	式	1	レベル4
殻運搬処理(As殻)	バックホ排出対策型 As	式	1	レベル4
残土処分工	バックホ排出対策型 砂質土	式	1	レベル4
給水管移設工（PE）		式	1	レベル3
水道用ポリエチレン二層管	一種二層管 25	m	13.5	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
給水・配水分止水栓等材料	ホ-ル式ホ-ル分水栓 塩ビ用 分止水栓用ソケット 75×25	個	1	レベル4
ホ-ル式ホ-ル分水栓	PEP用（鋳鉄製、分止水栓用ソケット付） 75×25	組	2	レベル4
水道用ポリエチレン管金属継手	エルボ JWWA B116 WSA規格 25×90°	個	4	レベル4
給水・配水分止水栓等材料	異種管継手（PE×塩ビ 離脱防止付） 25×20	個	2	レベル4
ポリエチレン管据付工	25	m	13.5	レベル4
ポリエチレン管継手工	25	口	11	レベル4
サドル分水栓建込み	ビニル管 呼び径75mm 25mm	箇所	1	レベル4
サドル分水栓建込み	ポリエチレン管 呼び径75mm 25mm	箇所	2	レベル4
ポリエチレン管切断工	25	口	7	レベル4
塩ビ管切断工	20	口	2	レベル4
異種管継手取付工	口径 20, 25	箇所	2	レベル4
管理設シ-ト工	巾15cm 2倍折込式	m	13.5	レベル4
管明示粘着テープ	巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色：青色，文字色：白色，施工年度明示	巻	0.7	レベル4
吹-ティングワ-設置工	被覆外径 4.4mm（材工共）	m	13.5	レベル4
交通管理工		式	1	レベル2
交通誘導警備員B		式	1	レベル3
交通誘導警備員B		人	24	レベル4
仮設工		式	1	レベル2

工事数量総括表

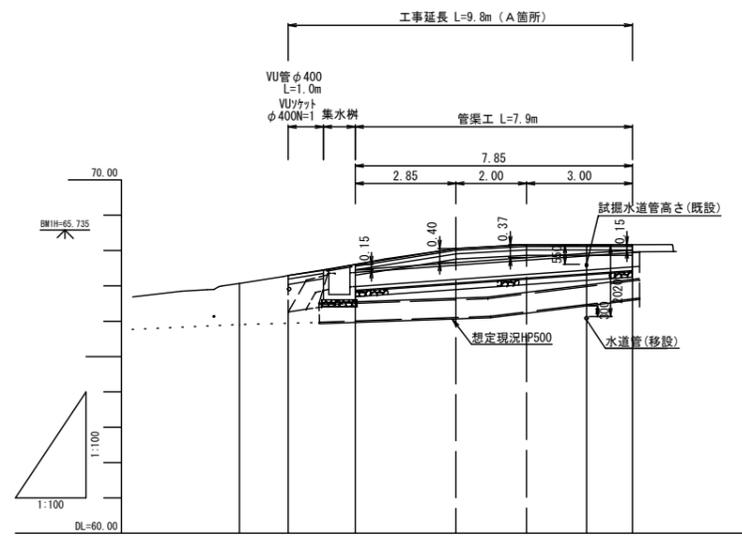
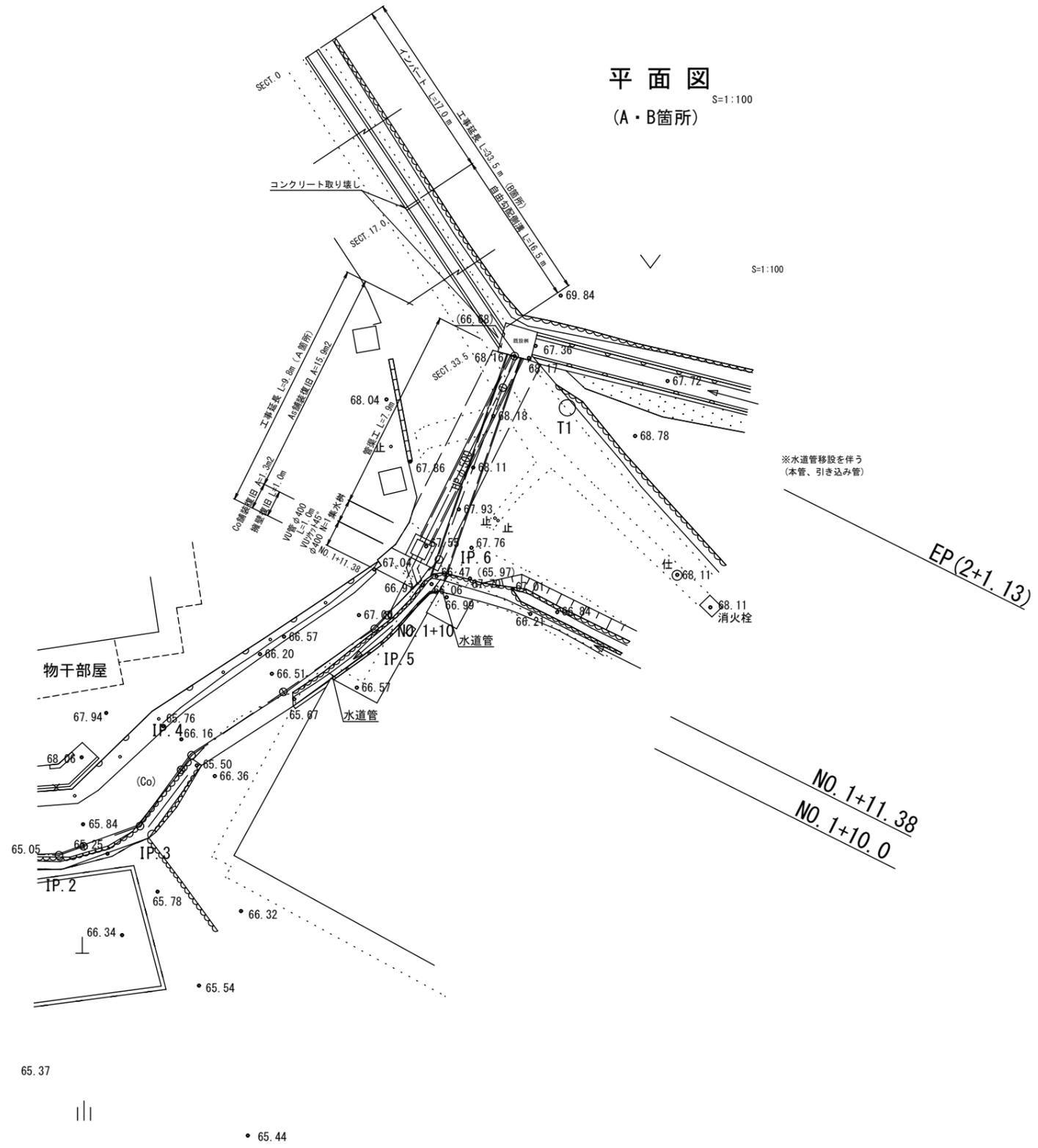
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設工		式	1	レベル3
敷鉄板		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
各種試験		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

平面図
(A・B箇所)
S=1:100

縦断図
(A箇所)
S=1:100



管渠工 計画河床高	66.98		67.54	
計画高	67.29			
地盤高	67.10	67.29	68.16	
追加距離	30.000	31.350	41.139	
区間距離	1.350		9.750	
測点	NO. 1+10.0	NO. 1+11.38	IP	

図面番号	1/5	縮尺	図示
工事名	水ヶ峠排水路河川修繕工事		
種別	平面図・縦断図	番号	1/2
路線名			
工事箇所	東広島市安芸津町三津		
東 広 島 市			

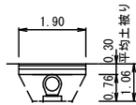
A3出力時50%縮小図面

断面図

S=1:100

(A箇所)

管渠部平均断面図



E(GF)=1.6
Fu(D)=0.8
K=0.5

Co切断
L=0.4×4
既設樹部分取壊し
0.4×0.4×0.2

作業土
L=7.9

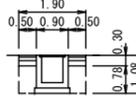
管渠工
L=7.9

As舗装復旧
L=7.9

As舗装撤去
L=7.9

As切断
L=7.9×2

集水樹部標準断面図



E(GF)=1.9
Fu(D)=0.8
K=1.0

作業土
L=0.9

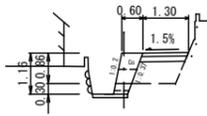
集水樹工
L=0.9

As舗装復旧
L=0.9

As舗装撤去
L=0.9

As切断
L=0.9×2

排出口
(NO.0+11.38 参考断面)



E(GF)=1.0
Fu(C)=0.8
K=-

Br(Co)=0.59

Co切断
L=1.3

作業土
L=1.0

VU管φ400
L=1.0

MU管φ45
φ400 N=1

As舗装復旧
L=1.0

Co舗装復旧
L=1.0

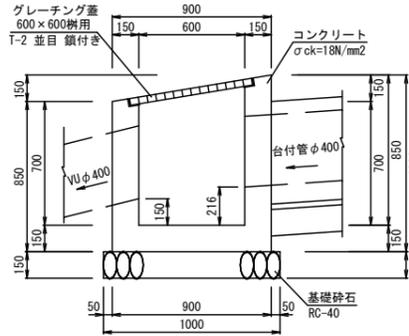
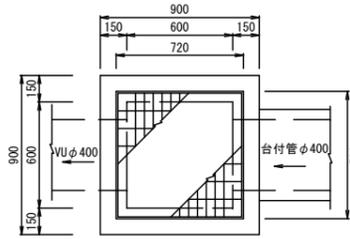
E(GF) = 床掘
Fu(C) = 埋戻(最大埋戻幅1m以上4m未満)
Fu(D) = 埋戻(最大埋戻幅1m未満)
K = 基礎修正
Br(Co) = コンクリート取壊し

構造図

(A箇所)

集水樹

S=1:20

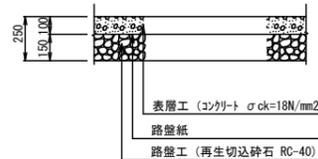


材料表 1箇所当り

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	0.407
型枠		m ²	5.05
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	1.00
グレーチング蓋	600×600樹用 1-2t 並目 枠込	組	1.0

Co舗装復旧

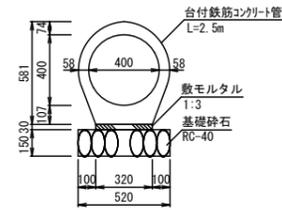
S=1:20



表層工 (コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$)
路盤紙
路盤工 (再生切込砕石 RC-40)

管渠工

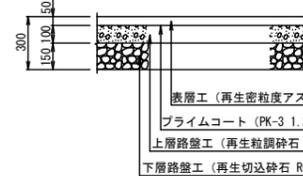
S=1:20



材料表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
台付鉄筋コンクリート管	φ400 L=2.5m	本	4.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.096
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	5.20

As舗装復旧

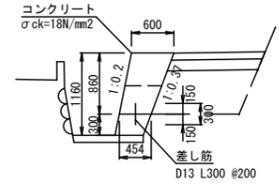
S=1:20



表層工 (再生密粒度アスコン20mm)
プライムコート (PK-3 1.3~2.0l/m²)
上層路盤工 (再生粒調砕石 RM-30)
下層路盤工 (再生切込砕石 RC-40)

コンクリート擁壁復旧

S=1:10



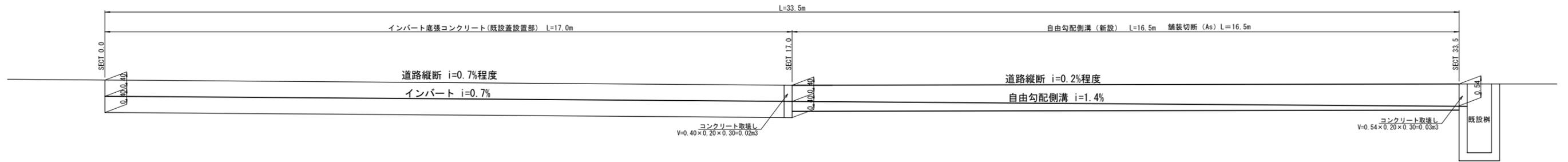
材料表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	4.532
型枠		m ²	8.77
差し筋	D13 L300 @200	Kg	14.9

図面番号	2/5	縮尺	図示
工事名	水ヶ峠排水路河川修繕工事		
種別	断面図・構造図	番号	2/2
路線名			
工事箇所	東広島市安芸津町三津		
東 広 島 市			

道路側溝計画図

縦断図

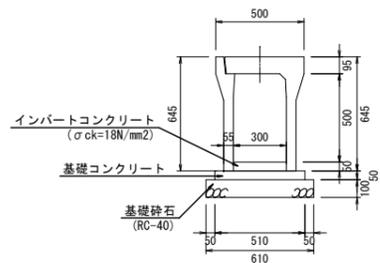
S=1:50
(B箇所)



構造図

S=1:50
(B箇所)

自由勾配側溝(縦断用) 300×500

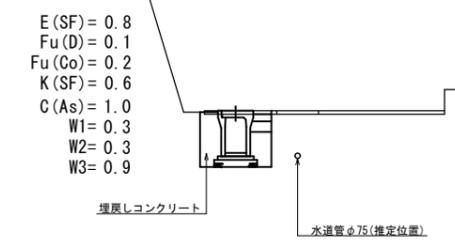
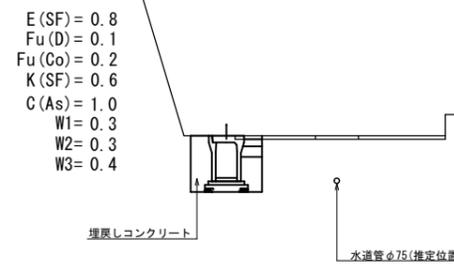
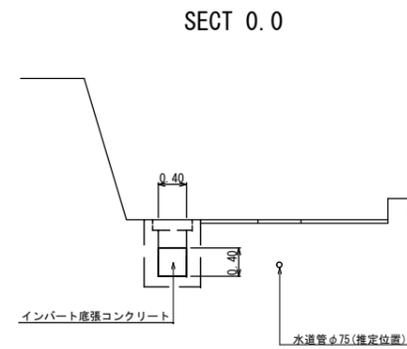


数量表 10m当り

種別	規格	単位	数量
自由勾配側溝	8400-H900(L=2.0m)	個	5.0
インパットコンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.525
基礎コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.255
基礎コンクリート型枠		m²	1.000
基礎砕石	RC-40 t=7.5cm	m²	6.100

横断図

S=1:50
(B箇所)

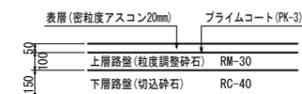


- E(SF) = 床掘り
- Fu(D) = 埋戻し
- Fu(Co) = 埋戻しCo
- K(SF) = 基面整正
- C1(SF) = 掘削
- C(As) = As破砕工
- W1 = 表層工
- W2 = 路盤工
- W3 = 舗装版破砕

舗装構成

S=1:20

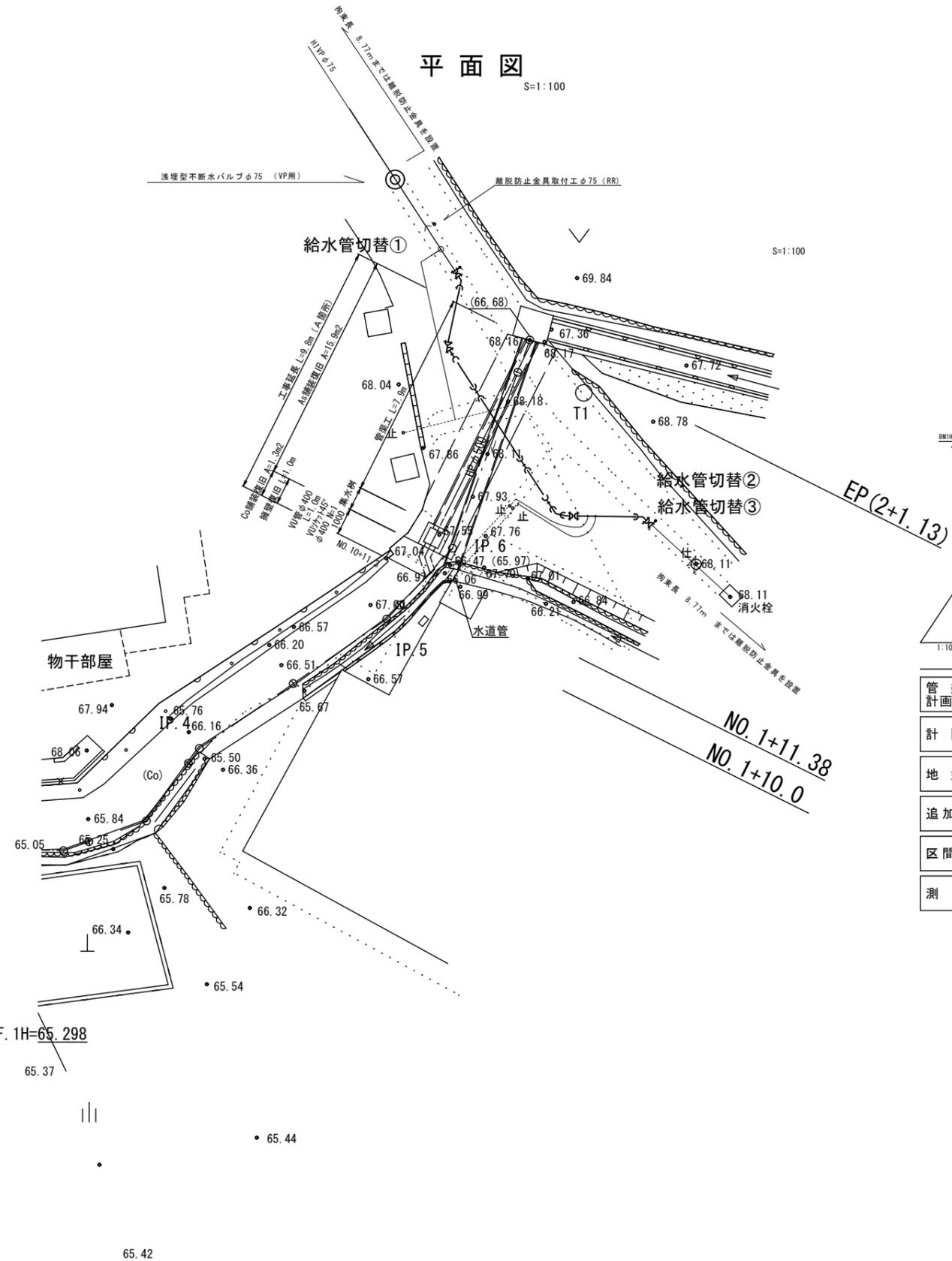
アスファルト舗装



図面番号	3/5	縮尺	S=1:100
工事名	水ヶ峠排水路河川修繕工事		
種別	縦断図・構造図・横断図		
路線名	河川		
工事箇所	東広島市安芸津町三津		
東 広 島 市			

平面図

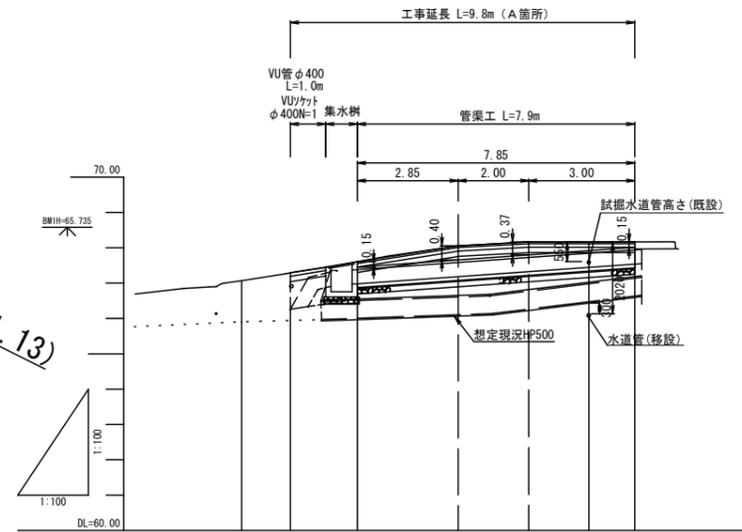
S=1:100



縦断図

S=1:100

(A箇所)

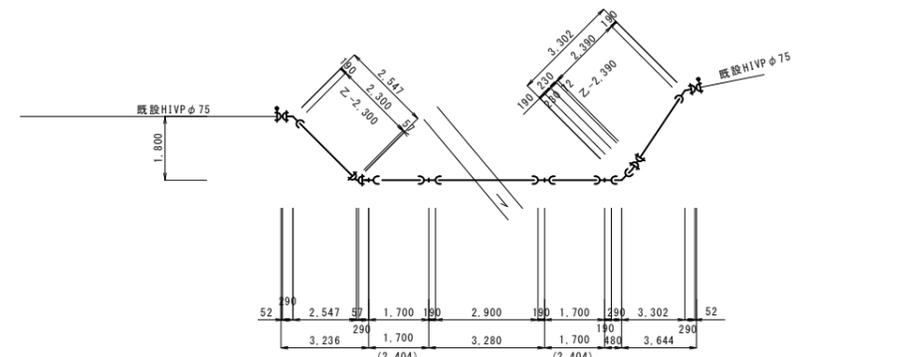


管渠工	計画河床高	66.98	67.54
計画高		67.28	68.11
地盤高		67.10	68.16
追加距離		30.000	41.130
区間距離		1.380	9.750
測点		NO.1+10.0	EP

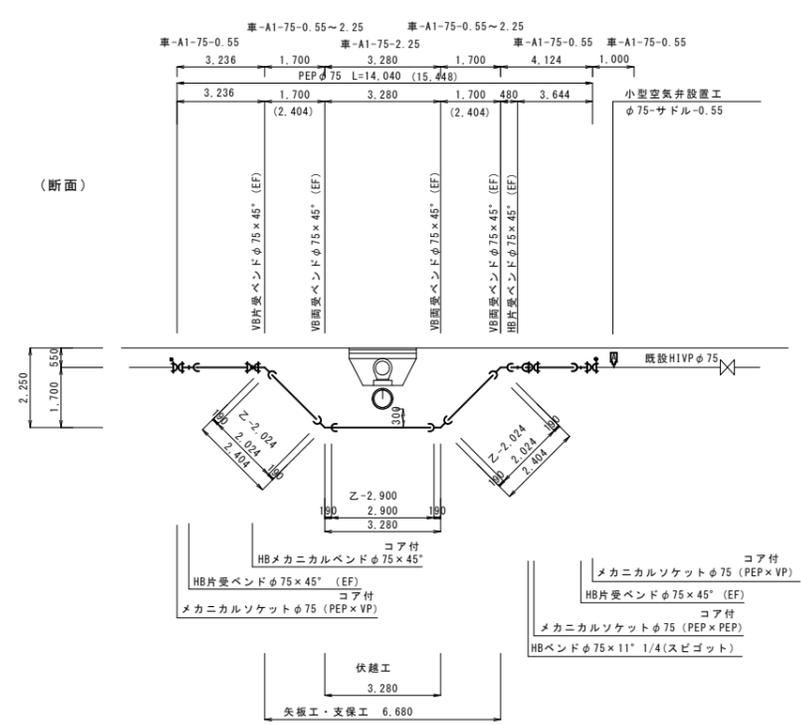
詳細図

S=1:100

(平面)



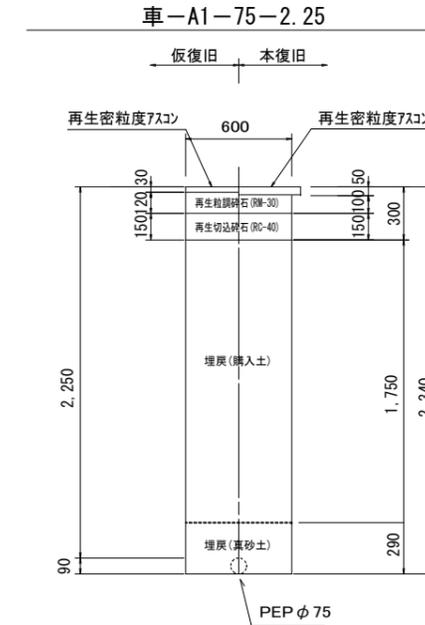
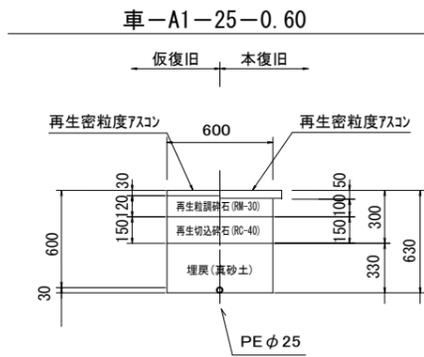
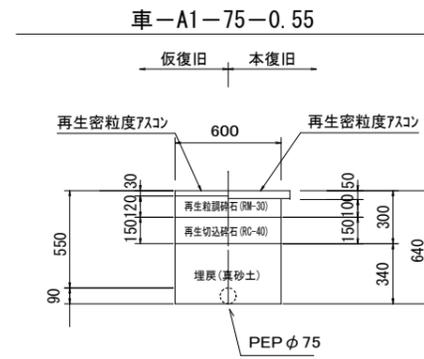
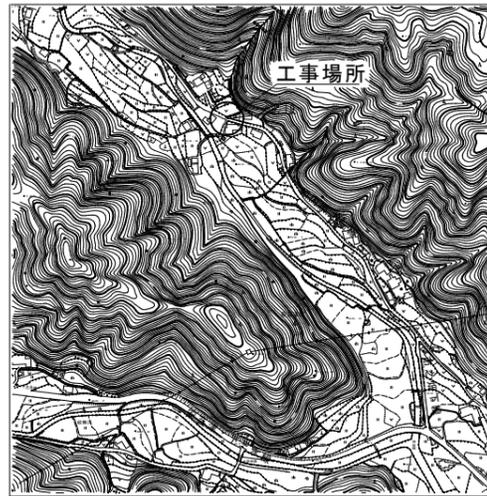
(断面)



設計水圧 0.88Mpa (9kgf/cm²)
フランジ 7.5K仕様

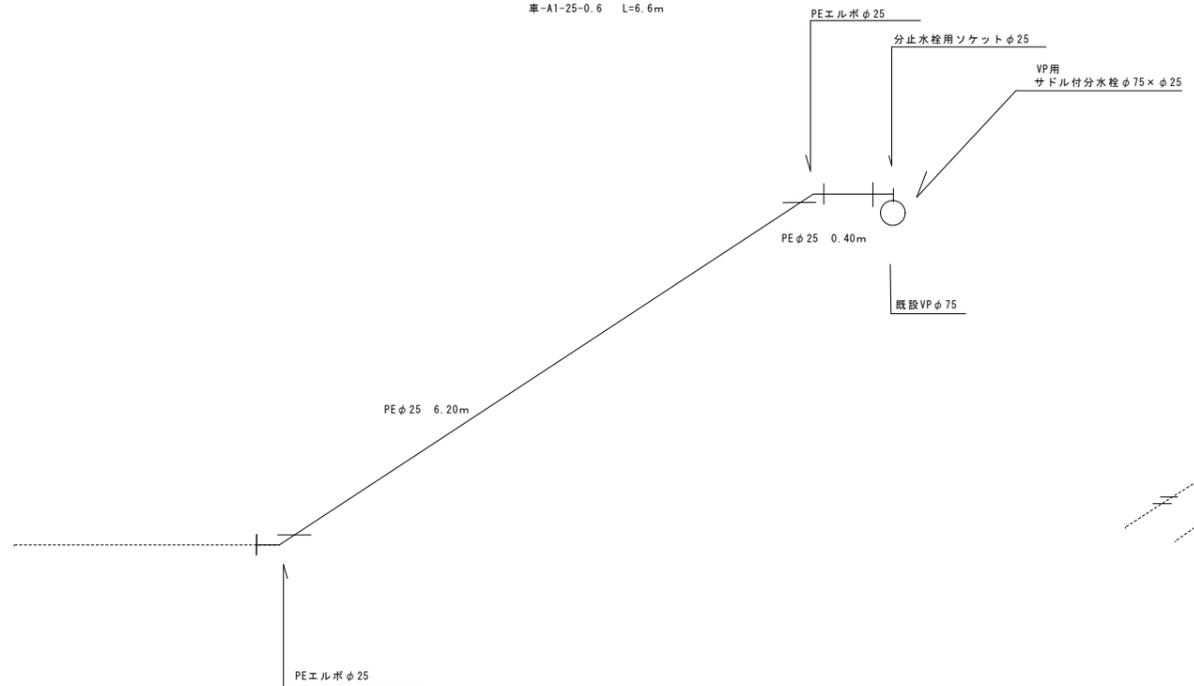
図面番号	4 / 5	縮尺	1 : 100
工事名	水ヶ峠排水路河川修繕工事		
種別	配水管移設図	番号	1 / 1
路線名			
工事箇所	東広島市安芸津町三津		
東 広 島 市			

位置図



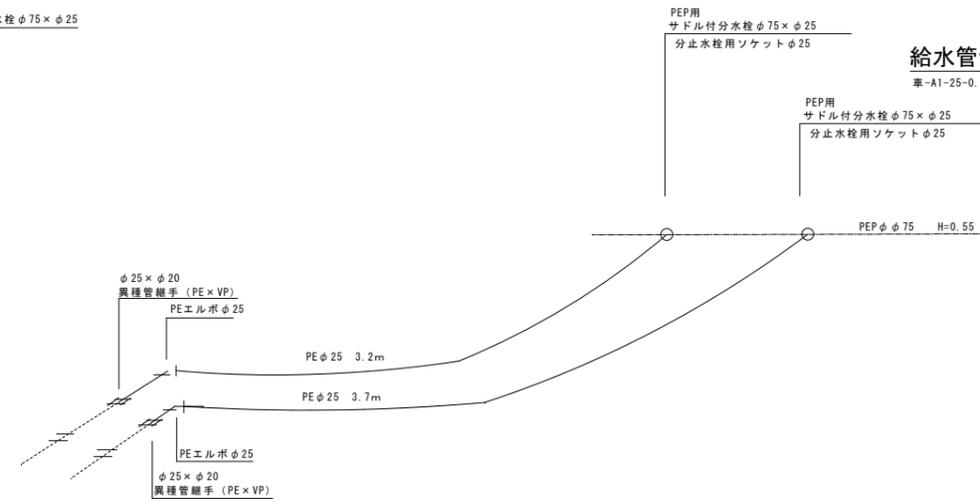
給水管切替① S=free

車-A1-25-0.6 L=6.6m



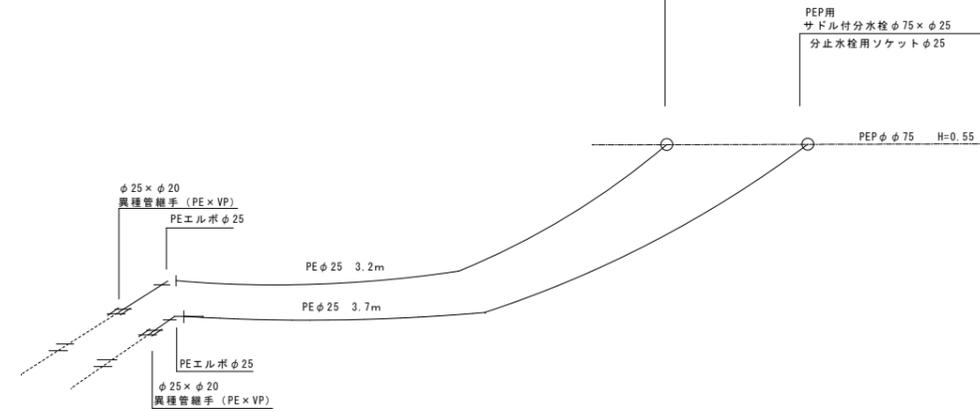
給水管切替② S=free

車-A1-25-0.6 L=3.2m



給水管切替③ S=free

車-A1-25-0.6 L=3.7m



設計水圧 1.18Mpa (12Kg/cm)

図面番号	5 / 5	縮尺	1 : 100
工事名	水ヶ峠排水路河川修繕工事		
種別	給水管移設図	番	1
路線名			
工事箇所	東広島市安芸津町三津		
東 広 島 市			

参 考 図 書

業務名称 : 令和7年度 河川維持修繕事業
水ヶ峠排水路河川修繕工事

<注意事項>

- 1 本業務は、数量公開の対象業務です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。
- 3 その他
 - ・当該業務により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先
一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時
たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫質土	大地リサイクルセンタ ー	東広島市西条町大沢字檜ノ 村松坂山 10175-89	7.1 km

- ・当該業務により発生する Co 殻、As 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている
施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
コンクリート殻（無筋）	光陽産業(株) 安芸津工場	東広島市安芸津町大田 180-1	7.7km
アスファルト殻	(有)エス・エス	竹原市下野町字大南山 1076	10.3km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 51 東広島市(安芸津) 00-07.06.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラークレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良工事					Y1E01 レベル1
排水路修繕	1	式			Y1E0101 レベル2
残土処理工	1	式			Y1E010101 レベル3
土砂等運搬 土砂	1	式			Y1E01010102 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	20	m3			SPK24040002 00
残土等処分	20	m3			単第0 -0001 表 Y1A01010803 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	20	m3			#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土	20	m3			F000000100 00 大地リサイクルセンター

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物工					Y1E0109 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010901 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1E01090102 レベル4
	30	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK24040015 00
	30	m3			単第0 -0002 表
埋戻し 土砂					Y1E01090103 レベル4
	10	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK24040020 00
	1	m3			単第0 -0003 表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPK24040020 00
	9	m3			単第0 -0004 表
埋戻し コンクリート					Y1E01090103 レベル4
	3	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK24040153 00
	3	m3			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート擁壁復旧	1	m			Y4999 レベル4
コンクリート擁壁復旧	1	m			V000000100 00 単第0 -0006 表
排水工	1	式			Y1E010903 レベル3
路側側溝 縦断用 300×500	17	m			Y1E01090301 レベル4
自由勾配側溝 300×500×2000	17	m			SDT00015 00 単第0 -0009 表
蓋板 自由勾配側溝蓋 (C0蓋)	13	枚			Y4999 レベル4
蓋版 自由勾配側溝ふた 300[400×95×500]	13	枚			SDT00017 00 単第0 -0010 表
蓋板 自由勾配側溝蓋 (グレーチング蓋)	3	枚			Y4999 レベル4
蓋版 材料別途 40 重量	3	枚			SDT00017 00 単第0 -0011 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝用グレーチング蓋 300用 T-25 L=500	3	枚			F000000600 00
鉄筋コンクリート台付管 管径400	8	m			Y1E01090404レベル4
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径400mm 台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)	8	m			SPK24040097 00 単第0 -0012 表
モルタル練 高炉	0.1	m3			SPK24040154 00 単第0 -0013 表
底張コンクリート	3	m3			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	3	m3			SPK24040153 00 単第0 -0005 表
集水枡 600×600 H700～850	1	箇所			Y1E01090502レベル4
現場打ち集水枡・街渠枡(本体) 18-8-40BB 0.40m3を超え0.43m3以下	1	箇所			SPK24040105 00 単第0 -0014 表
蓋版 材料別途 40<重量 170	1	枚			SDT00017 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
グレーチング蓋 T-2 並目 600×600 現場打ち集水柵用	1	枚			F000000200 00
暗渠排水管 VU 400	1	m			Y1E01090403 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm	1	m			SPK24040092 00 単第0 -0016 表
塩化ビニール管 ソケット 400 45°	1	個			F000000300 00
舗装工	1	式			Y1E0204 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3
下層路盤(歩道部) RC-40 全仕上り厚150mm	21	m2			Y1E02040402 レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	21	m2			SPK24040233 00 単第0 -0017 表
上層路盤(歩道部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	21	m2			Y1A04180404 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	21	m2			SPK24040235 00 単第0 -0018 表
表層(歩道部) 再生密粒度アスコン(20) 1層当り平均仕上厚50mm	21	m2			Y1A04180410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	21	m2			SPK24040244 00 単第0 -0019 表
コンクリート舗装工	1	式			Y1E020412 レベル3
路盤工 RC-30 全仕上り厚100mm	1	m2			Y1E02040403レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	1	m2			SPK24040233 00 単第0 -0017 表
コンクリート舗装 18-8-40BB	1	m2			Y1E02041207レベル4
路盤紙 クラフト紙系	1	m2			T0827 00
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			SPK24040153 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版					Y1E01120602 レベル4
	34	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	34	m			単第0 -0020 表
舗装版切断 コンクリート舗装版					Y1E01120602 レベル4
	3	m			
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	3	m			単第0 -0021 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版					Y1E01120603 レベル4
	33	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK24040018 00
	33	m2			単第0 -0022 表
コンクリート構造物取壊し 無筋コンクリート					Y1E01120601 レベル4
	1	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			SDT00031 00 単第0 -0023 表
運搬処理工	1	式			Y1A011416 レベル3
殻運搬 アスファルト殻	2	m3			Y1A01141601 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超)	2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0024 表
殻処分 アスファルト殻	4	t			Y1A01141602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分 アスファルト (有)エス・エス	4	t			F000000400 00
殻運搬 無筋コンクリート	1	m3			Y1A01141601 レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離8.5km以下(7.0km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 無筋コンクリート	2	t			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分 無筋コンクリート 光陽産業(株) 安芸津工場	2	t			F000000500 00
管路(水道)	1	式			Y1K01 レベル1
配水管移設工事 (PEP 75)	1	式			Y2999 レベル2
管路土工	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	32	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	32	m			SPK24040306 00 単第0 -0020 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下	10	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	10	m2			SQ004 00 単第0 -0026 表
管路掘削 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	11	m3			SQ005 00 単第0 -0028 表
真砂詰工 B<1.0 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	3	m3			V000000800 00 単第0 -0030 表
管路埋戻 ハック杓排出対策型 購入土	1	式			Y4999 レベル4
埋戻工(管上20cm～路床天迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	5	m3			VSW112028 00 単第0 -0034 表
下層路盤工 仕上厚 15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込砕石	10	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	10	m2			SQZ10 00 単第0 -0036 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤工 仕上厚 12cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	10	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	10	m2			SQZ10 00 単第0 -0038 表
仮復旧工 再生密粒As t=3cm, 7°ライムコートなし	1	式			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	10	m2			SQ000017 00 単第0 -0039 表
殻運搬処理(As殻) バックホ排出対策型 As	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホ排出対策型 As	0.5	m3			VSW604028 00 単第0 -0042 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (最安価(単価&運搬費)となる処分先)	0.5	m3			F02000 00 エス・エス
残土処分工 バックホ排出対策型 砂質土	1	式			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工(残土) バックホ 排出対策型 砂質土	11	m3			VSW603028 00 単第0 -0045 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (最安価(単価&運搬費)となる処分先)	11	m3			F01000 00 大地リサイクルセンター(大沢)
伏越工	1	式			Y4999 レベル4
伏越工	3.3	m			VSW001 00 単第0 -0047 表
矢板工	1	式			Y4999 レベル4
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.70m 転用	6.7	m			SQ010 00 単第0 -0049 表
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	6.7	m			SQ020 00 単第0 -0050 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	6.7	m			SQ020 00 単第0 -0051 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
75配水管移設工 (PEP)					Y3999 レベル3
	1	式			
水道配水用ポリエチレン管(直管) PEP 75×5000(mm)					Y4999 レベル4
	3	本			
水道配水用ポリリン管 フレンジ 75×5.0M					TQ000115 00
	3	本			
EF片受バンド EF45°バンド 片受タイプ 75					Y4999 レベル4
	4	個			
水道配水用ポリリン管継手 EF45°バンド 片受タイプ 75					TQ000195 00
	4	個			
EF両受バンド EF45°バンド 両受タイプ 75					Y4999 レベル4
	3	個			
水道配水用ポリリン管継手 EF45°バンド 両受タイプ 75					TQ000155 00
	3	個			
EFバンド 11°1/4バンド ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ継手・受口なし 75					Y4999 レベル4
	1	個			
水道配水用ポリリン管継手 11°1/4バンド ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ継手・受口なし 75					TQ000222750 00
	1	個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄製バンド 75×45° PEP インナーコア有り	1	個			Y4999 レベル4
鋳鉄製バンド 75×45° コア付	1	個			F000500 00
メカニカルソケット 75 PEP×PEP インナーコア有り	1	個			Y4999 レベル4
メカニカルソケット 75 PEP×PEP インナーコア有り	1	個			THSFA002300 00
メカニカルソケット 75 PEP×塩ビ インナーコア有り	2	個			Y4999 レベル4
メカニカルソケット 75 PEP×塩ビ インナーコア有り	2	個			THSFA002308 00
塩ビ管用離脱防止金具 75	1	個			Y4999 レベル4
硬質ポリ塩化ビニル管継手 離脱防止金具（水道用ゴム輪形） 75	1	個			THSFA002619 00
ポリエチレン管据付工 75	15.4	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管据付工 呼び径 75mm	15.4	m			SQ105 00 単第0 -0052 表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 75	10	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(融着接合)継手工 75	10	□			VPE10075 00 単第0 -0053 表
ポリエチレン管切断工 75	5	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 75mm	5	□			SQ110 00 単第0 -0055 表
塩ビ管切断工	5	□			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 75mm	5	□			SQ110 00 単第0 -0056 表
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設工 75 ポリエチレン側	6	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 75mm	6	□			SQ000035 00 単第0 -0057 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄継手工 75 メカソケット(VP側), メカ加キャップ° (VP部)	2	口			Y4999 レベル4
鑄鉄継手工(メカニカル形) 50- 100 メカソケット等	2	口			VSE10101 00 単第0 -0058 表
ポリエチレン管(メカ継手)布設工【メカ加キャップ°】 75 ポリエチレン側	2	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)布設 呼び径 75mm	2	口			SQ000035 00 単第0 -0057 表
ポリエチレン管(メカ継手)取外工【メカ加キャップ°】 75 メカ加キャップ°	2	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管(メカニカル継手)取外工 75	2	口			VPSE1000075 00 単第0 -0059 表
空気弁設置工 75-VP-0.55 東広島市型	1	箇所			Y4999 レベル4
空気弁設置工 75-VP-0.55 東広島市型	1	箇所			V000000300 00 単第0 -0060 表
空気弁BOX設置工(材工共) 口径 75・ 100, 土被0.55, 高さ0.40 東広島市型	1	箇所			V000000400 00 単第0 -0064 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
空気弁設置工（管財費） 75-VP-0.55 東広島市型	1	箇所			V000000500 00 単第0 -0065 表
不断水仕切弁設置工 VP 75用	1	箇所			Y4999 レベル4
不断水仕切弁設置工 VP 75用	1	箇所			FDS10007510 00
仕切弁ボックス設置工（材工共） 口径 75 土被り0.55 H=0.30 東広島市型	1	箇所			V000000600 00 単第0 -0066 表
不断水仕切弁 VP 75用	1	組			FDS100075 00
RR継手工 75 離脱防止金具設置	1	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管継手工 呼び径 75mm RR継手	1	口			SQ101 00 単第0 -0067 表
ホリソリフ被覆工 75	5	m			Y4999 レベル4
ホリソリフ被覆工 75【材工共】	5	m			VSE400075 00 単第0 -0068 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式	14	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式 (材工共) 地色:青,文字色:白	14	m			VSE500 00 単第0 -0069 表
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	0.8	巻			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	0.8	巻			TQ100001 00
吹テイングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm (材工共)	15.4	m			Y4999 レベル4
吹テイングワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm (材工共)	15.4	m			VSE700 00 単第0 -0071 表
管路土工 (給水)	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	27	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	27	m			SPK24040306 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下	8	m2			Y4999 レベル4
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	8	m2			SQ004 00 単第0 -0026 表
管路掘削 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
管路掘削 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	5	m3			SQ005 00 単第0 -0028 表
真砂詰工 B<1.0 ハック杓排出対策型	1	式			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	3	m3			V000000800 00 単第0 -0030 表
下層路盤工 仕上厚 15cm,施工幅 1.8m未満 再生切込砕石	8	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	8	m2			SQZ10 00 単第0 -0036 表
上層路盤工 仕上厚 12cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	8	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	8	m2			SQZ10 00 単第0 -0038 表
仮復旧工 再生密粒As t=3cm,7°ライムコトなし	1	式			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	8	m2			SQ000017 00 単第0 -0039 表
殻運搬処理【As殻】 バックホウ排出対策型 As	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ 排出対策型 As	0.4	m3			VSW604028 00 単第0 -0042 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (最安価(単価&運搬費)となる処分先)	0.4	m3			F02000 00 エス・エス
残土処分工 バックホウ排出対策型 砂質土	1	式			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ 排出対策型 砂質土	5	m3			VSW603028 00 単第0 -0045 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (最安価(単価&運搬費)となる処分先)	5	m3			#0041 F01000 00 大地リサイクルセンター(大沢)
給水管移設工(PE)	1	式			Y3999 レベル3
水道用ポリエチレン二層管 一種二層管 25	13.5	m			Y4999 レベル4
水道用ホリソレ二層管 PE50 1種 25	13.5	m			THSFA002397 00
給水・配水分止水栓等材料 ホリソレ式ホリソレ分水栓 塩ビ用 分止水栓用ソケット 75 x 25	1	個			Y4999 レベル4
水道用ホリソレ管金属継手 分止水栓用ソケット JWWA B 116 25	1	個			THSFA002429 00
給水・配水分止水栓等材料 ホリソレ式ホリソレ分水栓 塩ビ用 75 x 25	1	組			THSFA002488 00
ホリソレ式ホリソレ分水栓 PEP用(鋳鉄製、分止水栓用ソケット付 75 x 25	2	組			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ホ-ル式ホ-ル分水栓 PEP用(鋳鉄製、分止水栓用ワット付) 75 x 25	2	組			THSFA002590 00
水道用ポリエチレン管金属継手 エルボ JWWA B116 WSA規格 25 x 90°	4	個			Y4999 レベル4
水道用ホ-リソレ管金属継手 エルボ JWWA B 116 WSA規格 25 x 90°	4	個			F000900 00
給水・配水分止水栓等材料 異種管継手(PE x 塩ビ 離脱防止付) 25 x 20	2	個			Y4999 レベル4
給水・配水分止水栓等材料 異種管継手(PE x 塩ビ 離脱防止付) 25 x 20	2	個			THSFA002542 00
ポリエチレン管据付工 25	13.5	m			Y4999 レベル4
ポリエチレン管据付工 呼び径 25mm	13.5	m			SQ105 00 単第0 -0072 表
ポリエチレン管継手工 25	11	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管継手工 呼び径 25mm	11	口			SQ106 00 単第0 -0073 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
サドル分水栓建込み ビニル管 呼び径75mm 25mm	1	箇所			Y4999 レベル4
サドル分水栓建込み ビニル管 呼び径75mm 配水管 25mm	1	箇所			SQ000039 00 単第0 -0062 表
サドル分水栓建込み ポリエチレン管 呼び径75mm 25mm	2	箇所			Y4999 レベル4
サドル分水栓建込み ポリエチレン管 呼び径75mm 配水管 25mm	2	箇所			SQ000039 00 単第0 -0074 表
ポリエチレン管切断工 25	7	口			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 25mm	7	口			SQ110 00 単第0 -0075 表
塩ビ管切断工 20	2	口			Y4999 レベル4
硬質塩化ビニル管切断 呼び径 20mm	2	口			SQ110 00 単第0 -0076 表
異種管継手取付工 口径 20, 25	2	箇所			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
異種管継手取付工 口径 20, 25	2	箇所			VSQ31001 00 単第0 -0077 表
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式	13.5	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式(材工共) 地色:青,文字色:白	13.5	m			VSE500 00 単第0 -0069 表
管明示粘着テープ 巾5cm×20m t=0.20mm程度 地色:青色,文字色:白色,施工年度明示	0.7	巻			Y4999 レベル4
管明示テープ 幅 50mm 長さ20m 青地白文字 西暦表示	0.7	巻			TQ100001 00
吹付ワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm(材工共)	13.5	m			Y4999 レベル4
吹付ワイヤ設置工 被覆外径 4.4mm(材工共)	13.5	m			VSE700 00 単第0 -0071 表
交通管理工	1	式			Y2999 レベル2
交通誘導警備員B	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					Y4999 レベル4
	24	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	24	人			
仮設工					Y1A0115 レベル2
	1	式			
仮設工					Y3999 レベル3
	1	式			
敷鉄板					Y4999 レベル4
	1	式			
敷鉄板設置					S1050041 00
	240	m2			単第0 -0078 表
敷鉄板撤去					S1050043 00
	240	m2			単第0 -0080 表
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 賃貸期間10日					S1050029 00
	5	枚			単第0 -0081 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	1	式			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 3.4km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0082 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
各種試験	1	式			YZZ06001001 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通水試験 管径：800mm以下 給水車で注水する	0.01	日			SQ400 00 単第0 -0085 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0001 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,119.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0002 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0003 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.76% 労務構成比:

81.50%

材料構成比:

8.74%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,928.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	8.18%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.48%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0004 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.57% 労務構成比:

86.79% 材料構成比: 3.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,157.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3	8.96%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00159 MTPT00159
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.61%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	53.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	25.36%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0007 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

鉄筋

SPK24040334

単第0 -0008 表

SD295 D13

1

t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 67.90%

材料構成比: 32.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

390,730.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD295, D13 単位質量0.995kg/m	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPCD0446 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=2 SD295 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

自由勾配側溝
300×500×2000

SDT00015

単第0 -0009 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*500*2000 参考質量450kg	0.500	本			
再生クラッシュラン 40~0mm	0.732	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.083	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.083	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40			B=3 300×500×2000 F=1 - I=6.1 基礎碎石の設計数量(m3/10m)		
J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り			L=0.78 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)		

施工単価表

頁0 -0044

鉄筋コンクリート台付管

SPK24040097

単第0 -0012 表

据付 管径400mm

台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)

1

m 当り

機械構成比: 5.48%

労務構成比: 29.93%

材料構成比: 64.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

16,552.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	4.46%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	7.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	5.23%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
台付鉄筋コンクリート管(バイコン台付管) <JSWASA-9>,呼び径400BZ,長2500 参考質量720kg	62.29%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm x 長さ2,500mm		TTPCD0201 TTPT00135
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK24040154

単第0 -0013 表

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.30% 材料構成比: 16.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 94,888.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0047

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40BB

SPK24040105

単第0 -0014 表

0.40m3を超え0.43m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.08% 労務構成比:

86.59% 材料構成比: 13.33%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

60,631.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.08%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	33.14%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	29.49%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	12.98%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0016 表

据付 直管 200 ~ 400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

12.99%

材料構成比: 87.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,643.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	9.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JIS K6741)PE 呼び径400(420×11.8)	87.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0409 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=60 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径400mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK24040233

単第0 -0017 表

機械構成比: 5.62% 労務構成比:

RC-40

72.88%

材料構成比: 21.50%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り

784.89000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	26.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK24040233

単第0 -0017 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.62% 労務構成比: 72.88%

材料構成比: 21.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

784.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0053

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0018 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0018 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0055

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

50.12%

材料構成比: 49.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,198.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	17.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	43.36%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.90%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

50.12%

材料構成比: 49.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,198.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0057

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0020 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0021 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.36%

労務構成比:

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,222.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	9.09%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

殻運搬 SPK24040151 単第0 -0024 表
 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超) 1
 機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: m3 当り 7,245.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=47 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0025 表

吹付法面とりこわし(モルタル)

DID区間無し 運搬距離8.5km以下(7.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 21.53% 労務構成比:

64.89%

材料構成比: 13.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,140.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	21.53%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	64.89%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=37 運搬距離8.5km以下(7.0km超)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0031 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.5km以下(7.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,530.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=28 距離9.5km以下(7.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

管路埋戻
BH投入・タンパ締固め

SQ006
クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)

単第0 -0032 表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	7.6	時間			単第0-0029 表
タンパ運転(賃料) 質量 60~80kg	3	日			単第0-0033 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 BH投入・タンパ締固め C=3 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)			B=1 材料別途計上 D=3 排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0035 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離5.5km以下(4.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,020.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=16 距離5.5km以下(4.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

アスファルト舗装工(人力)
仕上厚3cm

SQ000017
締固め後密度 2.35 t/m³

単第0 -0039 表

100 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	7.544	t			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0040 表
振動コンパクト運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0041 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			
A=3 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=3 瀝青材料散布なし F=1 小型車割増なし		

施工単価表

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0044 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=32 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.29 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

施工単価表

木矢板設置・撤去工
矢板長 L=2.70m

SQ010

単第0 -0049 表

転用

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
矢板損料 L=3.6m, t=4.5cm	24.3	m3			
土木一般世話役	1.00	人			
型わく工	2.08	人			
普通作業員	30.20	人			設置
普通作業員	21.84	人			撤去
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去 C=1 転用 E=113000000 矢板損料【登録単価CODE】(m3)			B=5 矢板長 L=2.70m D=2 矢板損料(各種)		

施工単価表

木製支保工設置工
木矢板

SQ020
床掘深さ 2.0m以上

単第0 -0050 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	13.0	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	1.1	m3			
型わく工	5.12	人			
普通作業員	9.54	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=13 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=1.1 切梁材使用量 D=2 木矢板 2.0m以上		

施工単価表

敷鉄板撤去

S1050043

単第0 -0080 表

頁0 -0120

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			単第0-0079 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

水ヶ峠排水路

数量計算書

費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	合計数量	箇所		摘要
								A箇所	B箇所	
	排水工									
		側溝工	路側側溝	縦断用 300×500	m	17.0	16.5		16.5	
		管渠工	台付鉄筋コンクリート管	φ400	m	8.0	7.9	7.9		
		底張コンクリート			m ³	3.0	2.7		2.7	
		1号集水柵	現場打ち	600×600h700~850	基	1	1.0	1.0		
		塩ビ管	VU管φ400		m	1	1.0	1.0		
		塩ビソケット	VUソケット400用45°		個	1	1.0	1.0		
	舗装工									
	アスファルト舗装									
		表層工	再生密粒度アスコン 20mm	t=5cm	m ²	21	20.9	15.9	5.0	
		上層路盤工	再生粒調碎石 RM-30	t=10cm	m ²	21	20.9	15.9	5.0	
		下層路盤工	再生切込碎石 RC-40	t=15cm	m ²	21	20.9	15.9	5.0	
	コンクリート舗装						0.0			
		表層工	コンクリート σ _{ck} =18N/mm ²	t=10cm	m ²	1	1.3	1.3		
		路盤工	再生切込碎石 RC-40	t=15cm	m ²	1	1.3	1.3		
		路盤紙			m ²	1	1.3	1.3		
	構造物取壊し工									
		アスファルト舗装剥ぎ取り	t=5cm		m ²	33	33.2	16.7	16.5	
		コンクリート取壊し		無筋コンクリート	m ³	1	0.7	0.6	0.05	
		アスファルト切断	t=5cm		m	34	34.1	17.6	16.5	

水ヶ峠排水路

土量配分表

(A・B箇所)

掘削土			
掘削	レキ質土		m3
床掘	〃	28.5	m3
計	レキ質土	28.5	m3

購入土	0.0 m3
-----	--------

$0 \times 1.2 = 0.0$

残土処分			
計	レキ質土	17.9	m3

$28.5 - 10.6 = 17.9 \text{ m3}$

土量変化率 0.9

盛土		
		m3
合計		m3

$0.0 / 0.9 = 0.0 \text{ m3}$

土量変化率 0.9

埋戻土			
埋戻	区分C	0.8	m3
埋戻	区分D	8.7	m3
合計		9.5	m3

$9.5 / 0.9 = 10.6 \text{ m3}$

測点	距離	床掘 E(GF)			埋戻 Fu(C)			埋戻 Fu(D)			基面整正			摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
排出口付近 NO.0+11.3		1.0			0.8									
	1.0	1.0	1.00	1.0	0.8	0.80	0.8							
集水樹部		1.9						0.8			1.0			
	0.9	1.9	1.90	1.7				0.8	0.80	0.7	1.0	1.00	0.9	
管渠部		1.6						0.8			0.5			
EP	7.9	1.6	1.60	12.6				0.8	0.80	6.3	0.5	0.50	4.0	
合計	9.8 ^m			15.3 ^{m3}			0.8 ^{m3}			7.0 ^{m3}			4.9 ^{m2}	

水ヶ峠排水路

コンクリート擁壁復旧工

計 算 書

(A箇所)

(2 / 8)

測 点	距 離	コンクリート			型 枠			差し筋						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
排出口付近 NO.0+11.3		0.45			0.88			1.5						
	1.0	0.45	0.450	0.45	0.88	0.880	0.88	1.5	1.50	1.5				
合 計	1.0 ^m			0.5 ^{m3}			0.9 ^{m2}			1.5 ^{Kg}				

水ヶ峠排水路

排水工

計 算 書

(A箇所)

(3 / 8)

	管渠工 台付管 φ400 L2500	集水柵 600×600h700~850	塩ビ管 VUφ400	塩ビソケット Vuφ400用 45°				
NO.1+11.3								
EP	7.9	1.0	1.0	1.0				
合 計	7.9 m	1.0 基	1.0 m	1.0 個				

測 点	距 離	表層工 (t=5cm)			上層路盤工 (t=10cm)			下層路盤工 (t=15cm)						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
集水柵部		1.00			1.00			1.00						
	0.9	1.00	1.000	0.90	1.00	1.000	0.90	1.00	1.000	0.90				
管渠部		1.90			1.90			1.90						
EP	7.9	1.90	1.900	15.01	1.90	1.900	15.01	1.90	1.900	15.01				
合 計	8.8 ^m			15.9 ^{m2}			15.9 ^{m2}			15.9 ^{m2}				

水ヶ峠排水路

コンクリート舗装復旧工

計 算 書

(A箇所)

(5 / 8)

測 点	距 離	表層工 (t=10cm)			路盤工 (t=15cm)			路盤紙						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
NO.10+11.3 排出部		1.30			1.30			1.30						
	1.0	1.30	1.300	1.30	1.30	1.300	1.30	1.30	1.300	1.30				
合 計	1.0 ^m			1.3 ^{m2}			1.3 ^{m2}			1.3 ^{m2}				

水ヶ峠排水路

アスファルト舗装剥ぎ取り

計 算 書

(A箇所)

(7 / 8)

測 点	距 離	アスファルト剥取 (t=5cm)			アスファルト切断 (t=5cm)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
集水柵部		1.90												
	0.9	1.90	1.900	1.71			1.8							
管渠部		1.90												
EP	7.9	1.90	1.900	15.01			15.8							
合 計	8.8 ^m			16.7 ^{m2}			17.6 ^m							

水ヶ峠排水路

コンクリート取壊し

計 算 書

(A箇所)

(8 / 8)

測 点	距 離	無筋コンクリート取壊し			コンクリート切断 (t=10cm)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
NO.10+11.3 排出部		0.59												
	1.0	0.59	0.590	0.59			1.3							
既設柵部分取壊し EP		0.50 × 0.50 × 0.20		0.05	0.40 × 4		1.6							
合 計	1.0 ^m			0.6 ^{m³}			2.9 ^m							

測点	距離	床掘:E(SF)			埋戻:Fu(D)			埋戻:Fu(Co)			基面整正:K(SF)			摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
		0.8			0.1			0.2			0.6			
SECT, 17.0	0.0	0.8	0.80	0.0	0.1	0.10	0.0	0.2	0.20	0.0	0.6	0.60	0.0	
SECT, 33.5	16.5	0.8	0.80	13.2	0.1	0.10	1.7	0.2	0.20	3.3	0.6	0.60	9.9	
				m3			m3			m3			m2	
合計	16.5			13.2			1.7			3.3			9.9	

水ヶ峠排水路

アスファルト舗装復旧工 計 算 書

(B箇所)
(3 / 5)

測 点	距 離	表層工 (t=5cm):W1			上層路盤工 (t=10cm):W2			下層路盤工 (t=15cm):W2						摘 要
		幅員	平 均	数 量	幅員	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 17.0	0.0	0.30			0.30			0.30						
SECT, 33.5	16.5	0.30	0.30	5.0	0.30	0.30	5.0	0.30	0.30	5.0				
	m			m2			m2			m2				
小 計	16.5			5.0			5.0			5.0				

水ヶ峠排水路

構造物取壊工

計 算 書

(B箇所)

(4 / 5)

測 点	距 離	舗装版切断工			舗装版破碎工C(AS)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
					1.00									
SECT, 17.0	0.0				1.00	1.00	0.0							
SECT, 33.5	16.5			16.5	1.00	1.00	16.5							
	m			m			m2							
合 計	16.5			16.5			16.5							

PEP φ 75 配水管
三津水道管移設（水ヶ峠排水路）

φ 75PEP 切 管 調 書

PEP φ 75× 5.050

片受直管																	
No.	乙 切 管					合計	残管	管切断 (×)	No.	乙 切 管					合計	残管	管切断 (×)
	本管	本管															
1	2.300 ×	2.390 ×				4.690	0.360	2									
2	2.900 ×	2.024 ×				4.924	0.126	2									
3	2.024 ×					2.024	3.026	1									
合計						11.638	3.512	5	合計								

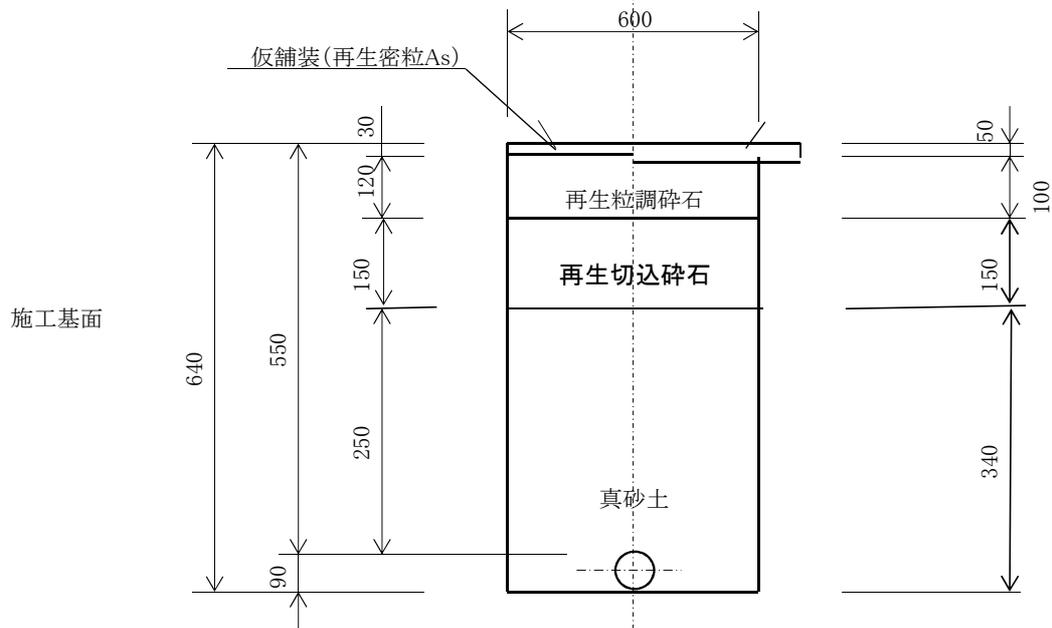
管 布 設 工

φ 75 PEP

名 称	形 状 寸 法	数 量	摘 要
ポリエチレン管 据付工	融着接合 φ 75 人力	15.4 m	管延長 15.448 - - = 15.448
ポリエチレン管 継手工	融着接合 φ 75	10 口	下記計算式より = 10
塩ビ管切断工	φ 75	5 口	既設塩ビ管 2 × 2 + 1 = 5
ポリエチレン管切断工	φ 75	5 口	5 = 5
メカニカル継手工	ポリ管 φ 75 (コア付)	6 口	メカソケット + メカバンド 4 × 1*2 = 6
メカニカル継手工	VP管 φ 75	2 口	メカソケット 2 = 2
ポリスリーブ被覆工		5 ヶ所	メカソケット + メカバンド + 離脱防止 3 + 1 + 1 = 5
離脱防止金具取付工	φ 75 (RR用)	1 ヶ所	1 = 1
空気弁設置工	75-VP-0.55	1 ヶ所	1 = 1
不断水仕切弁設置工	φ 75	1 ヶ所	
仕切弁ボックス設置工	H=0.55	1 ヶ所	
管理設シート工		14.0 m	14.040 = 14.040
管明示テープ工		15.4 m	15.448 = 15.448
ロケーティングワイヤー設置工		15.4 m	15.448 = 15.448
通水試験工	給水車	0.01 日	15.448 / 1250 = 0.012
(計算式) ポリエチレン管継手工	片受45° + 両受45° 4*1+3*2	10 口	= 10
メカニカル継手	45° + ソケット(PE) 1*2+ 4	6 口	= 6
メカニカル継手	ソケット(VP) 2	2 口	= 2
メカニカル継手工	ポリ管 φ 75	2 口	水圧テスト
メカニカル取外工	ポリ管 φ 75	2 口	水圧テスト

φ75 土工延長表

種 別	規 格	単位	φ 75	φ 75離脱	空気弁		φ 25				計	計上値
車-A1-75-0.55	真砂土入替	m	7.360	1.000	1.000						9.360	9.4 m
車-A1-75-0.55~2.25	管天20cm 真砂土入替	m	3.400								3.400	3.4 m
車-A1-75-2.25	管天20cm 真砂土入替	m	3.280								3.280	3.3 m
車-A1-25-0.6	管天20cm 真砂土入替	m					13.500				13.500	13.5 m
											29.540	

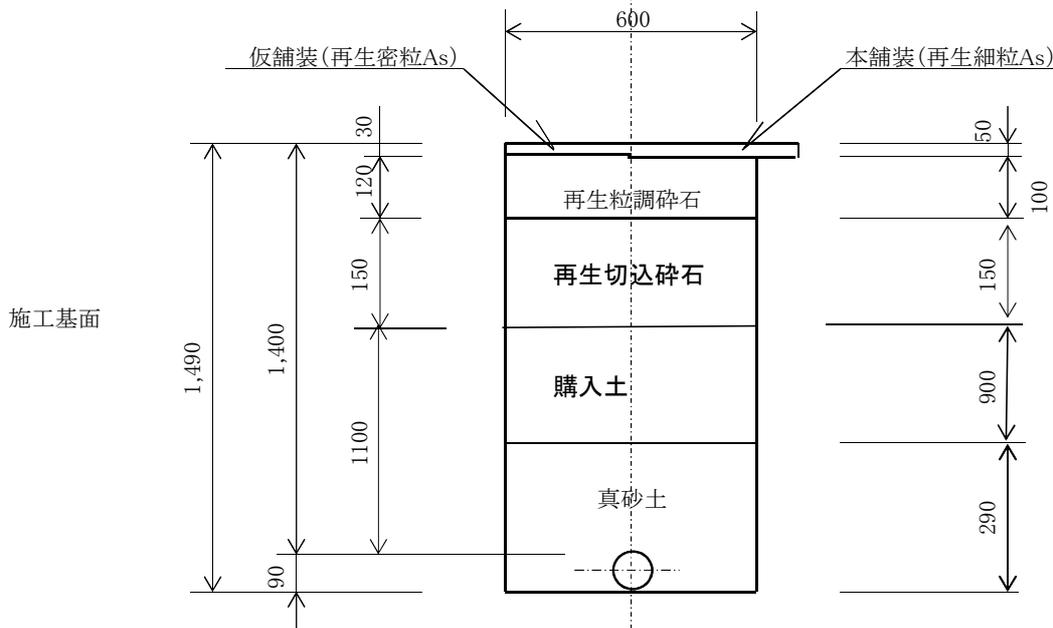


(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破砕	As t=15cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m ²
機械床掘	砂質土	0.60 × (0.64 - 0.05)	0.35 m ³
真砂詰工	管天20cmまで	0.60 × 0.34 - 1/4 × π × 0.09 ²	0.20 m ³
埋戻工	購入土		m ³
下層路盤	再生切込碎石 t= 15cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
上層路盤	再生粒調碎石 t= 12cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
仮復旧	再生密粒 As t= 3cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
残土処理	Asガラ	0.60 × 0.05	0.03 m ³
残土処理	土砂		0.35 m ³
本復旧 仮復旧部	再生細粒 As t= 5cm		
本復旧 影響部	再生細粒 As t= 5cm		
舗装切断	As t=15cm以下		

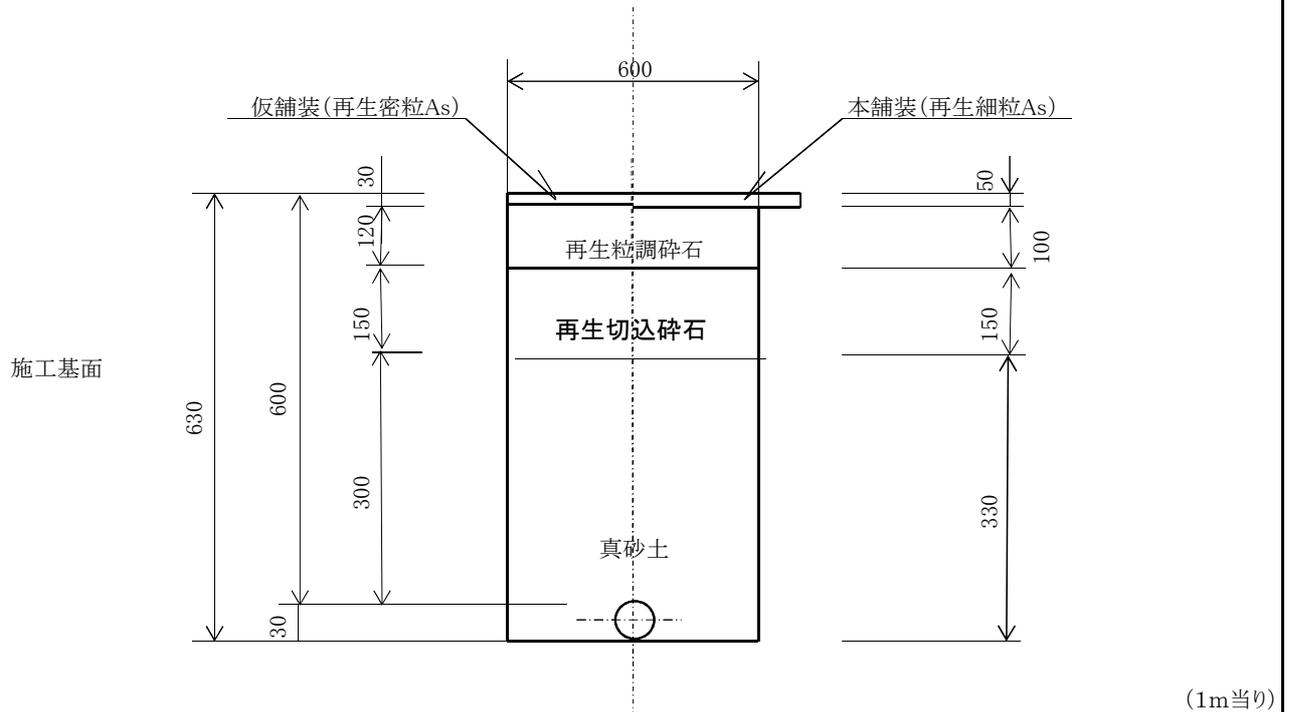
車 - A1 - 75 - 1.40

(0.55~2.25)



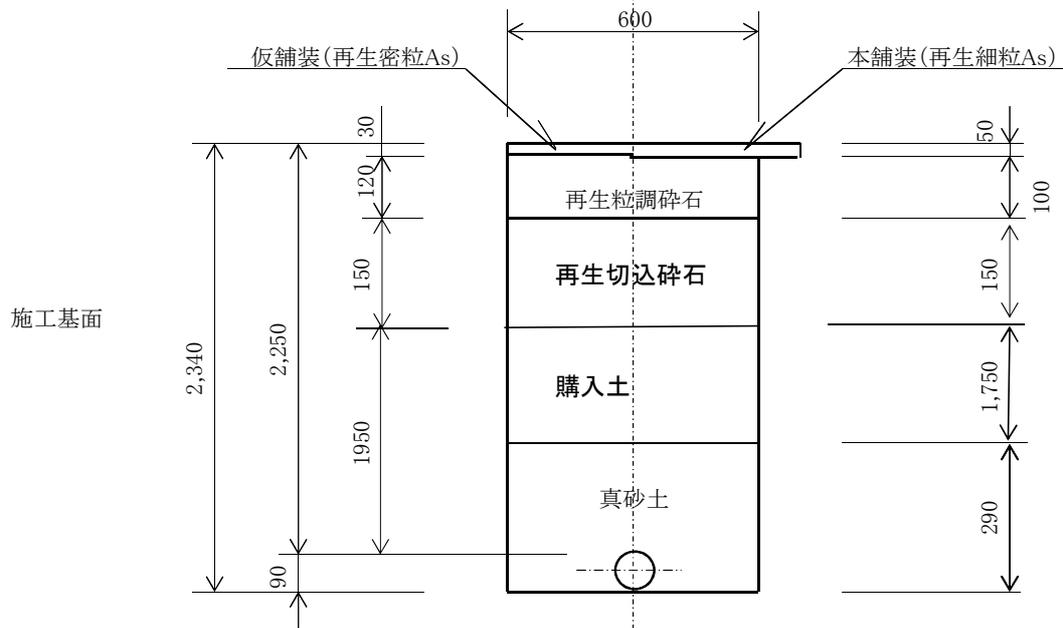
(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破砕	As t=15cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m ²
機械床掘	砂質土	0.60 × (1.49 - 0.05)	0.86 m ³
真砂詰工	管天20cmまで	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 ²	0.17 m ³
埋戻工	購入土	0.60 × 0.90	0.54 m ³
下層路盤	再生切込碎石 t= 15cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
上層路盤	再生粒調碎石 t= 12cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
仮復旧	再生密粒 As t= 3cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
残土処理	Asガラ	0.60 × 0.05	0.03 m ³
残土処理	土砂		0.86 m ³
本復旧 仮復旧部	再生細粒 As t= 5cm		
本復旧 影響部	再生細粒 As t= 5cm		
舗装切断	As t=15cm以下		



(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=15cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m ²
機械床堀	砂質土	0.60 × (0.63 - 0.05)	0.35 m ³
真砂詰工	管天20cmまで	0.60 × 0.33 - 1/4 × π × 0.03 ²	0.20 m ³
埋戻工	購入土		
下層路盤	再生切込碎石 t= 15cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
上層路盤	再生粒調碎石 t= 12cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
仮復旧	再生密粒 As t= 3cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
残土処理	Asガラ	0.60 × 0.05	0.03 m ³
残土処理	土砂		0.35 m ³
本復旧 仮復旧部	再生細粒 As t= 5cm		
本復旧 影響部	再生細粒 As t= 5cm		
舗装切断	As t=15cm以下		



(1m当り)

名称	規格	算式	数量
舗装切断	As t=15cm以下	1.00 × 2	2.00 m
舗装版破碎	As t=15cm以下	1.00 × 0.60	0.60 m ²
機械床掘	砂質土	0.60 × (2.34 - 0.05)	1.37 m ³
真砂詰工	管天20cmまで	0.60 × 0.29 - 1/4 × π × 0.09 ²	0.17 m ³
埋戻工	購入土	0.60 × 1.75	1.05 m ³
下層路盤	再生切込碎石 t= 15cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
上層路盤	再生粒調碎石 t= 12cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
仮復旧	再生密粒 As t= 3cm	1.00 × 0.60	0.60 m ²
残土処理	Asガラ	0.60 × 0.05	0.03 m ³
残土処理	土砂		1.37 m ³
本復旧 仮復旧部	再生細粒 As t= 5cm		
本復旧 影響部	再生細粒 As t= 5cm		
舗装切断	As t=15cm以下		

As汚泥				
排水量V=0.023	$\times t \times L$	t=舗装厚	L=延長	
	舗装厚	延長		
仮復旧	0.023	0.05	36.0	0.041
本復旧	0.023	0.05	42.6	0.049
			計	0.090

最低処分量(0.1m³)

0.1

給水塔基礎							
砕石基礎	RC-40 (T=15)	1.3	1.3		1.69	2	m2
コンクリート	18-8-40BB	1.0	1.0	0.9	0.85	1	m3
型枠工		0.9	1.0	4.0	3.4	3.0	m2

PE φ 25 給水管
三津（水ヶ峠）地区配水管布設工事

